



みんなで子育て No.12

開講式が行われる時期になりました

瑞穂市立穂積中学校

スクールカウンセラーによる講話

(講演会型+サロン型)

開催日：11月21日(木)
講師：スクールカウンセラー
小川 佑香 氏



●講話(前半)：中学生期の特徴

- ・思春期・反抗期です。体の特徴もありますが、心では「自分らしさ」や「自分とは何か」を探る時期です。情緒は不安定で、性の芽生えもあり、周囲の目が気になります。感受性が強くなり、吸収力も高いので、他人からの影響が大きい。反抗期は、「自立したい」と「甘えたい」の両極端な特徴があります。
- ・接し方について、傾聴、共感が必要「そうなんやね」とまずは聞く。干渉しすぎない。親より友だちとの時間を重視する。細かいことまで聞かない。一人の人間として接する。子ども扱いほしない。



・中学生の悩みは、数年かかってできている場合が多く、解決する方法は簡単ではありません。悩みは一人で抱えるのはつらいので、いろいろ調べたり、話したりすると楽になります。また、同じ境遇の人がいると安心します。
このような貴重なお話がありました。後半はグループワークです。

●グループワークの雰囲気我感到

- ・4人グループになり、配られた用紙に各自の悩みやこうなっほしいことを1つ記入します。
- ・グループ内の隣りの人に渡します。悩みに対する解決策を各自が考え記入します。
- ・3回行って、本人のところに戻ってきたものを読んでみます。その中でやってみようと思えるものを決めます。
- ・グループ内で決めた内容を発表し交流します。最後に全体でグループ毎に一人ずつ発表しました。

例えば

- ・現 状：子どもが感情のコントロールが不安、物には当たらない。テレビを見てボーっとしている。早く寝るように言うと「あっちにいけ!」と言う。
- ・対 応：その場を離れ、コントロールする時間を持ったり、ボーっとする時間はそのままにしておいたり、しばらくしてから言う。(何のことか聞かない) 干渉しない距離感が大事ではないか。

といった内容があり、自分のことを素直に話したり、聞けたりする姿がある事が分かります。



●参加者の感想より

- ・カウンセラーの先生が学校にいないことを知りませんでした。今回ワーク方式だったので自分の悩みを伝えやすかったです。参加された方のお話、気持ちや悩みを聞いて、悩んでいるのは自分だけではないと気づきました。アドバイスをいただけたので、家庭でも頑張っていきたいと思います。
- ・初めて会ったお母さん方と、子どもが同じ年頃というだけで、1つのきっかけを頂ければ、話し合ったり、アドバイスをもらったりできることがすてきだと思いました。また、こんな機会があったらいいなと思いました。



◆コメント

穂積中学校の成人教育委員会が年度当初活動計画を決める際に、委員20名にアンケートを取り、その中に、「思春期の悩みや相談をスクールカウンセラーに聞いたり話したりしたい」と言った意見が多数あったためスクールカウンセラーに相談して実施に至りました。お話を聞くという事はありますが、このようにグループワークを行うのは貴重です。委員さんの意欲を大いに感じました。

今回の内容は、各自の悩みに対応し、互いを支える活動になっています。交流の様子からも参加された方の意識の高さを強く感じました。その中には子育てサロンで目指す姿があり、素晴らしい活動です。家庭教育プログラムに組み入れたいと思える有意義な活動だと感じました。

本巢市乳幼児期家庭教育学級 2019 みんなで子育て勉強会

(第7回) おうちでほっこり X'mas Dinner

(体験活動型)

開催日:11月28日(木)
10:00~11:30



講師料理研究家 青木早希氏

グループで分担し実習に入ります。参加者は、顔見知りが増え、話しやすい雰囲気です。仕事の手際が良く、4つのメニューを1時間ほどで作り、盛り付け、片付けもあっという間でした。

ハンバーグは分厚く、焼いた後、ソースを作りながら熱し、ハンバーグにかけます。その後バターを入れるので風味が増します。感想を聞いてみると、

- ・ハンバーグもアップルパイも子どもと一緒に大きさを覚えてできそう。
- ・ハンバーグの風味が増しておいしい。このソースがおいしい。パンと食べてもおいしい。醤油が入っていてご飯に合いそう。
- ・ポテトがクリーミーで舌触りが良く子どもが喜んで食べる。等大好評でした。もちろんレシピはもらって帰ります。



◆コメント

参加者は親子のコミュニケーションや運動、スクラップブック、絵本の読み聞かせ、防災(乳幼児対象)などを学んでいます。今後もダンスやフラワーアレンジメントが計画されています。託児があることで、保護者の方には、学びと共に話せる環境が十分で気分転換、仲間づくりに大切な時間となっていると感じました。

各務原市立鷺沼第三小学校

「思春期に入る子どもの発達課題について」

(講演会型)

開催日:12月7日(土)

講師:スクールカウンセラー
堀 智哉氏



●講演内容 (5, 6年生と保護者の参加)

「4mの正方形の1辺の長さは？」5, 6年の子は元気に手を挙げ、「2mです。」講演が進み「2mの正方形の1辺の長さは？」中学3年の学習内容で理解できなくても、素直に発表できるよさがあります。年齢が上がり学習が進むにしたがって、心の成長があります。思春期の変化に関して映画「千と千尋の神隠し」の主人公千尋の変化を例に紹介されました。また、心の安定は空間と時間の把握があって初めてできるもので、それが分からないのが認知症というお話があり、映画「明日の記憶」の場面につながっていきます。

答えることが難しい問題もあり「何が正しいのか考えて判断する。その力をつける」と話され、人としての成長のために学んでいることが伝わってきます。

「小学生のなりたい職業」の男子の項目に、10年前になかった「ユーチューバー」が6位にあり、なるほど思いました。でも「会社員」が5位と現実的でもある夢のお話もされました。最後に、映画「時をかける少女」から「自分の考えをもちつつ、他の人の意見に耳を傾けられる力」をもてるように成長してほしいと話されました。

●参加された保護者の方に感想を聞きました。

- ・子どもの価値観が変わっていくことが分かった。
- ・「千と千尋の神隠し」のアニメの見方として子どもの成長を見ることができるといことが新鮮で、もう一度子どもと観たい。
- ・子どもが参加できる講演が大変よかった。よく手を挙げる姿もよい。
- ・学んでいる内容が子どもの成長と合っていることが分かった。

◆コメント

講師は中学校区のスクールカウンセラーを10年以上されており、教職員の研修会でも講師を務められています。小中学校のある学年の教材を出され、それに準じて心の成長があることを伝えられています。子どもの素直な反応があり、参加意欲が高いことが素晴らしいです。問題や映画の事例を紹介することで子どもや保護者にも分かり易く話されています。

講演後の椅子の片付けに参加された保護者の皆さんが素早く協力して行われる姿に、日ごろのPTAの関わりのよさを見ることができました。



開催日: 12月14日(土)
 講師: 順天堂大学スポーツ健康科学部講師(2004年アテネオリンピック女子ハンマー投げ日本代表)室伏 由佳氏



●講演内容

- オリンピックの精神
- ①卓越性(より高い目標を目指して努力すること)Excellence、
 - ②友情(スポーツを通して得られる友情や絆)Friendship、
 - ③尊敬(ルールを尊重する、フェアプレイに徹する、支えてくれる人達に対する敬意)Respect

を紹介され、自身の歩みを基に話されました。小学2年の時に父重信氏がロサンゼルスオリンピックで活躍する姿をスタジアムで応援し、その雰囲気にあこがれを感じました。中学は三種競技A、高校は円盤投げ、大学で円盤に加えてハンマー投げを始めオリンピックを目指されました。記録を伸ばすための苦勞や親子の話、オリンピック選考会での心の持ち方等のお話に引き込まれました。生徒からの質問にも丁寧に答えていただき、つらい状況でも自分を成長させる見方がある事に気付かされます。



◇参加された保護者の感想

- ・今日を当たり前で過ごすことが多いが、すごくいいお話だった。何かを目標にすることが大事だと感じました。今日の話で子どもと話ができそうでよかった。
- ・あきらめない。素直に聞いた事が凄い。
- ・メンタルにも科学的根拠があることに納得しました。根拠性を持ってやるのがスポーツには必要であることが分かりました。

◆コメント

生徒はとてもよく聞いていて、反応も自然です。オリンピック選手の一流のお話が聞け、言葉一つ一つに重みがあり、保護者や生徒に伝わっていると感じました。大学の講師であり、生徒の反応を見ながら、時には話しかけながら進められているので、分かり易く感じました。父の姿から、オリンピックに出たいという大きな目標を持つことができました。でも、親子だから苦しむこともあるという話は、身近な部分があり共感する部分でした。目標を持つこと、日常を大事にすることについてより深く感じる講話でした。



北方町 ひなたぼっこくらぶ (子育てサロン型) 12月20日(金)10:30~11:30

●ひなたぼっこくらぶ 毎週金曜日午前

地域住民ボランティアが中心となって子育て支援や多世代交流の場を運営しています。乳幼児から子育て世代、高齢者を一体的に見守る「地域支え合いセンター」の役割を担っています。

●今回はクリスマス会

親子約80名以上の参加 高齢者が16名、子ども館より2名の参加
 内容は

- 1 クリスマスケーキ: パネルシアターでクリスマスケーキが出来上がり、食べた雰囲気を楽しみました。
- 2 おもちのチャチャチャ: 楽しく歌いながら、おじいさんおばあさんがペープサートを動かします。
- 3 ジングルベル・きよしこの夜: ハーモニカに合わせて、すざろープならし。おじいさんのハーモニカ上手い!
- 4 作ってあそぼー: リース作りの仕上げはおじいさんおばあさんからのシールのプレゼント、楽しげに集まります。
- 5 サンタ登場: お菓子入り手作りアンパンマンの袋のプレゼント



●参加者の感想

- ・子ども館で話を聞いて参加しました。とっても楽しい活動です。
- ・物を作るのが楽しかった。
- ・2人・3人の子を連れてきても他の人が面倒見てくれるのでありがたいです。
- ・高齢者や他の家族とのふれあいが多くいい活動だと思いました。

◆コメント

地域の皆さんが乳幼児の保護者の支援や高齢者の交流の場を運営していることが素晴らしい。あるお母さんが「上の子がこれができたときに(7年ほど前)参加して、今回も参加してよかった」と話されたことから、継続する事の良さ、また維持されている皆さんの努力に頭が下がります。



開催日: 12月17日(火)
講師: 小幡 沙織 氏



●体験内容 (閉講式も行われています)
最初に印鑑ケースを作ります。

描かれている枠を切り取り、両面テープを張り、補強のためにバルボレーンと張り合わせます。口金に合わせてボンドではり、紙ひもで固定し、ペンチで締めます。朱肉のついたストラップも化粧して完成。これが作る際の基本となっています。



両面テープを両サイドに張る部分があり、口金に入れたときに、布がはみ出ない様に工夫されています。

次に小銭入れ

縫い合わせや、裏返しがあり、アイロンも使います。時間がかかります。縫う時間があると、最初の印鑑ケースを作るときの緊張感も緩み、慣れた状況があり、会話がはずむようになります。グループで活動しているのでコミュニケーションが自然にとれ、作品作りの確認も互いにできていて楽しげです。

出来上がると図柄が際立ち、見た人から「かわいい」との声、一つ作ったけど、また他にも作りたいという声が出るなど、盛り上がりも出てきています。約3時間の製作時間その後サロンを行っていました。



鷺沼中学校PTA会員様
令和元年11月15日
第3回子育て広場のお知らせ
案内文書
がま口で印鑑ケースと小銭入れ作り

冬の気配が近々と感じられる季節となつてまいりました。日頃はPTA活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。第3回は、がま口で「印鑑ケースと小銭入れ」作りを行います。これからの季節、プレゼントしても喜ばれる印鑑ケースは、縫わずに作れちゃいます。小銭入れは、手縫いしますが、なみ縫いが出来れば大丈夫。縫いそうながま口も意外に簡単に作れちゃいます。アクセサリー、リップやお薬を入れるなど色々使ってください。制作後は、お茶タイムもあります。鷺沼中学校では、子ども達が卒業記念に印鑑をもらうのでお子様にいかがですか？

記

× 日時 令和元年12月17日(火) 午前9時20分～12時30分 終了予定
× 場所 鷺沼中学校 飯原室(南倉3番 西側階後側)
× 講師 小幡 沙織 鷺沼小学校でPTA活動とは別に、手作り好きの友人達と保護者対象に手作りサークルを主催しています。
× 参加費 700円
× 定員 20名 ※スムーズに進行するため、様々な生地でキットをご用意いたします。差られた方からお選びください。
× 持ち物 スリッパ、裁縫道具(針、まち針、糸)、布切りはさみ、紙切りはさみ、木工用ボンド・目打ち・マイナスイラスト(あれば)、ペンチ(あれば) お茶用の、マグカップ、お皿、スプーン、フォーク、ナフキン

参加ご希望の方は11月29日(金)までに、担任の先生まで下記参加申込書を提出してください。なお、参加者多数の場合は役員で抽選させていただきます。当選された方には後ほど案内を配布します。

キリトリせん

第3回子育て広場 参加申込書 令和元年 月 日

●感想

- ・楽しい、簡単にできてうれしい。卒業する息子のために印鑑ケースを作りました。
- ・裁縫が苦手な私にも簡単にできてうれしい。いっぱい作りたい。
- ・娘が「水色がイイ、口金の上は玉がない方がいい」などとおたよりに見本があったので柄も親子で話し合っていて、作ることを楽しめました。
- ・生地から形ができて、自分で作れることがとっっても楽しい。

◆コメント

講師の準備やサポートが非常によく、参加された方全員が自分で選んだ生地、口金で作品を完成されていることが素晴らしいですね。選べる生地が豊富、口金も豊富で楽しい。参加された方が「子どもの卒業記念品の印鑑の印鑑ケースをこれで自分が作ればとても記念になる」と話されたように、選ぶ・自分で作る楽しさがあり、作り方も簡単なことからその良さが伝わっています。

事前のおたよりもカラー印刷で、見やすく工夫も良くされていました。参加された方のモチベーションが高く、またコミュニケーションも良く、互いに教え合ったり、確認し合ったりできていました。「楽しい」の声がどこからも聞こえる様子が素晴らしいですね。

★今年度「子育てサロン型」の実践がよくされています

今年度、訪問した家庭教育学級では、講演後や体験後にお茶や茶菓子を用意して子育てサロンを実践される場合がいくつかありました。不安や悩みや少し気になることを話すことで気持ちも楽になれるようです。よく実践されていると感じました。来年度に向けての引継ぎにも、年間計画に入れてぜひ実施するように伝えてください。

<p>【子育てサロン型の方法・特徴】 ◇小グループの和気あいあいとした雰囲気の中で、互いの経験や悩みなどを交流し、子育てのヒントをつかむ。</p>	<p>【子育てサロン型のメリット】 ◇話をすることによって悩みや不安の軽減、解消ができ、自分の子育てに安心感や自信をもつことができる。 ◇保護者同士のつながりができやすい。</p>	<p>【子育てサロン型の取組のポイント】 ◇少人数(5～8人)で、進行役をおく。 ◇話しやすい雰囲気づくりを心がける。 ◇あらかじめテーマを設定してもよい。 ◇茶菓子等があると、和やかに話ができる。 ◇体験活動型や講演会型と組み合わせると実践しやすい。</p>
---	--	--



家庭教育学級のふり返し・引き継ぎ

家庭教育学級リーダーの皆さんは、子育てについて悩んだり考えたりしている保護者の一人として、家庭教育学級参加者と一緒になり「親として成長していく」という願いのもと、様々な工夫や努力をして活動を企画・運営されたことと思います。今は、達成感や充実感を感じておられるでしょう。

そこで、本年度も「家庭教育学級の実施状況」と「“話そう！語ろう！わが家の約束”運動の実施状況」の表を用意してみました。まず、今年の活動の「新たな工夫」や「よかった！」ことを明確にします。それを中心に、新しい方に引き継ぎができるようまとめるのはいかがでしょうか。

令和元年度家庭教育学級実施状況調査																												
実施日	学習内容(テーマ)	講座対象	対象者数	参加者数	学習形態						学習内容分類						テーマ分類				開催にあたっての工夫							
					A	B	C	D	E i	E ii	1	2	3	4	5	6	ア	イ	ウ	エ	I	II	III	IV	V	VI		
10/1	目標に向かって生きる	全保護者	450	200	○		○	○					○	○		○			○	○							○	○

・形態や内容等の重複回答OKです。工夫よさを見つけてください。
・対象者は、保護者の範囲や人数。

【学習形態】
A : 学校行事参加型
B : 体験活動参加型
C : 講演型
D : 子育てサロン型
E : 在宅取組型 i、ii

【学習内容の分類】
1 : 家庭教育全般
2 : 子ども理解
3 : 子どもの健康
4 : 子どもの生き方
5 : 社会問題 6 : その他

【テキストの活用・工夫】
I : 家庭教育学級運営マニュアル「みんなで子育て」
II : 家庭教育プログラム「みんなで子育てII (乳幼児期編)」
III : 家庭教育プログラム「みんなで子育てIII (小中学校編)」
IV : 家庭教育プログラム「みんなで子育てIV (次世代編)」
V : 保護者の参加しやすい開催日時の工夫
VI : 型の組み合わせ (学習形態を組み合わせ実施 A+C+D等)

(2)「話そう!語ろう!わが家の約束」運動を実施 E(i)			
実施期間	名称	参加者	取組の概要
夏休み	ノーメディアデー	全校児童 保護者	親子で約束を話し合って決め実践。懇談会でも活用。

・今年度新たな取組を実施した場合だけでなく、各校で継続されていた取組や市での取組も位置付ける。
・定義とあてはまれば、E i。

【「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の定義】
①家族で話し合って「わが家の約束」を決定する
②取組を実践カード等(県HP版・自校作成版)に記録する
③実践中、実践後、家族で互いの思いを伝え合う
この3段階を経ていく中でコミュニケーションを深める取組

【約束運動の実施】
A : 定義どおりの運動を実施(E i)
B : 定義と異なるが、類似の活動を実施(E ii)
C : 実施しなかった

(3)「類似の運動」を実施 E(ii)			
実施期間	名称	参加者	取組の概要
夏休み	あったかい言葉かけ運動	全校児童 保護者	家庭や地域でのあったかい言葉の作品募集に参加。

上記の表は、各市町教育委員会から依頼されている「令和元年度家庭教育学級実施調査」項目の多くを活用しています。委員長・学級長として、1年間多くの方と汗と知恵を出して実施されたのですから、ぜひ、自校(園・所)の自慢を見つけてください。それが、新たな伝統や歴史をつくることになり、自校(園・所)の保護者や子どもたちの幸せと笑顔につながっていくのです。

最後の締め括りも楽しみながら、みんなを笑顔にして終わることができるように、応援しています。

閉講式の「挨拶」が「引き継ぎ」の内容になります！！

これは、例年紹介されているものです。とても参考になりますので、今年も紹介します。(一部改作)
「閉講式」での委員長さんの「挨拶」です。「引き継ぎ」の資料としても生かせる内容です。
参考にして、自分の「よかった！」工夫や努力を組み込みながら、喜びや感謝を伝えませんか。



閉講式にあたり、ごあいさつをさせていただきます。

〇〇〇学校の家庭教育学級では、「共に学び、豊かな心を育てよう」をテーマに、本年度、4回の家庭教育学級を行いました。

第1回目は、〇〇〇〇先生の講演「今を生き生きと～親子が共に育つには～」をお聞きました。思っているだけでなく、言葉にして「ありがとう」という感謝の言葉を1日3回使おうという心に響くお話でした。土曜日の家族参観日で、「引き渡し訓練」もあることから、170人という大勢の方に聞いていただくことができました。

第2回目は、1年生の保護者の皆さんを対象にして、PTA本部の協力も仰ぎ、給食試食会と口腔衛生教室を開催しました。子ども達と一緒に給食を食べ、安心・安全で、バランスのとれた学校給食のお話を栄養教諭の先生から聞きました。また、給食後には学校歯科医の先生から子ども用歯間ブラシの必要性を学びました。親子での話や同学年の親同士のお話もできて有意義でしたね。

第3回目は、〇〇〇〇先生をお招きし、「思春期を見通した子育て」というテーマでお話を聞きました。校区の小中合同で行った人権学習で、75人の参加を得ることができました。性に関わり、相手を大切に、自分を大切に、命の大切さについて学びました。

第4回目(本日)は、〇〇〇〇先生に美しい姿勢と健康的な歩き方について教えていただきました。左右・前後で体の傾きがあったり、歪んでいたりすることも多く、まっすぐ立つことを意識した「なりきりウォーキング！！」で、すっきりしました。その後、茶菓子を用意し、少人数でのグループで日頃の思いを語り合い、笑顔や笑い声の絶えない楽しい家庭教育学級となりました。

また、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動として、夏休みには1回目の回を生かして「1日3回ありがとう」を、10月のキッズウィークには、「1日1ハグ～ギューツと抱きしめよう～」を、全保護者・児童による在宅取組を実施しました。ミナモの実践カードを使い、大好評でした。親子のコミュニケーションとハグで幸せホルモンが分泌され、愛情と信頼を実感することができ、家族の絆を深めました。

家庭教育学級とは、「学びの場」であり、「子育てについての交流の場」であるわけですが、学級や学年をこえた「新しい出会い」や「つながりを生んだ場」でもあったと思います。

私自身、家庭教育学級を運営するにあたり、悩んだり迷ったりしましたが、委員さんの意見や情報を得てこの活動を通じて得ることができた多くのよき仲間との「出会い」に支えられ、1年間やり切ることができました。交流の幅も広がりました。

PTA役員の皆さんの高い志のもと取組をさせていただけたことに、心から感謝しております。これからも家庭教育学級が、皆様のすばらしい学びの場であり、出会いの場であることを願っています。ご支援ご協力、本当にありがとうございました。

- ・土曜日の参観日を活用
(学校行事参加型)
- ・PTA本部や学校との連携で、内容や日程の工夫

- ・対象者を絞り込んで開催
- ・子どもの食生活・口腔保健についての交流
(学校行事+講演会+サロン型)

- ・中学校との連携
- ・「命」という、今日的教育課題についての「学び」
(小中合同講演会型)

- ・「ねらい」を「ふれあい」に焦点化
- ・体験活動と子育てサロン型を組み合わせた

- ・「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の実施
- ・講演と連携し、ハグにより家族の絆を強くできます。
- ・県の実践カード活用
(在宅取組型)

- ・年間4回の内容がバランスよく配置され、サロン型をうまく取り入れています。
- ・「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を効果的な内容で実施しています。
- ・家庭教育学級の役割が明確に述べられています。
- ・役員としての苦勞やその中での成長について、素直に語っておられます。
- ・皆さんへの「感謝」を忘れない姿勢に、とても心をうたれます。

約束で子どもをしぼるわけではありません。

「約束」はきっかけです。

